

平成25年度 野生動物救護実績について

自然環境保全センター（厚木市七沢）では、県民の皆様によって救護され、運び込まれた傷病鳥獣（傷ついたり弱ったりしている野生の鳥類や哺乳類）を収容して治療し、野生に帰す（放鳥、放獣）仕事を行っています。

平成25年度の野生動物救護の実績をお知らせします。

1 平成25年度の鳥類・哺乳類別救護状況

区分	種類	数(頭、羽)	数の割合
鳥類	61	457	87.7%
哺乳類	9	64	12.3%
合計	70	521	

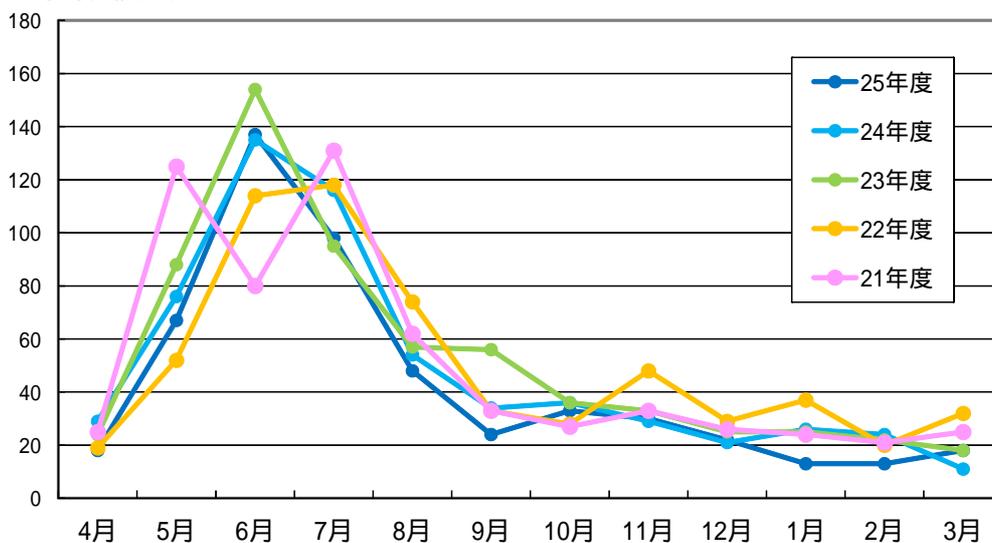
参考（過去5カ年の救護状況）

(1) 年度別救護数

年度別	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
鳥類	457	(22)	496	(29)	542	(49)	509	(40)	504	(32)
哺乳類	64	(1)	95	(7)	91	(5)	95	(1)	108	(4)
計	521	(23)	591	(36)	633	(54)	604	(41)	612	(36)

* () は死体で持ち込まれたもので、内数

(2) 月別救護点数



(3) 救護数上位10種

年度別 順位	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
	種名	点数	種名	点数	種名	点数	種名	点数	種名	点数
1	ツバメ	101	ツバメ	89	ツバメ	77	ツバメ	89	ツバメ	82
2	スズメ	76	スズメ	59	スズメ	74	スズメ	85	スズメ	67
3	キジバト	43	キジバト	40	キジバト	61	タヌキ	46	タヌキ	58
4	ヒヨドリ	35	ヒヨドリ	39	ムクドリ	43	キジバト	43	キジバト	51
5	タヌキ	33	メジロ	38	シジュウカラ	41	ヒヨドリ	36	メジロ	43
6	ムクドリ	23	ムクドリ	28	タヌキ	39	ムクドリ	35	ムクドリ	31
7	シジュウカラ	21	タヌキ	28	ヒヨドリ	35	メジロ	24	ヒヨドリ	29
8	カルガモ	16	ゴイサギ	25	メジロ	20	カルガモ	23	イワツバメ	22
9	アブラコウモリ	15	シジュウカラ	23	カルガモ	16	アブラコウモリ	20	カルガモ	19
10	ハクセキレイ	11	アブラコウモリ	23	ハクビシン	16	イワツバメ	15	シジュウカラ	14

(4) 平成25年度の月別救護鳥獣一覧

区分	目名	科名	種名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
鳥類	キジ	キジ	ウズラ								3					3	
	キジ	キジ	キジ				1									1	
	カモ	カモ	マガモ									1				1	
	カモ	カモ	カルガモ		4	4	5				1	1	1			16	
	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ			1						2				3	
	ハト	ハト	キジバト	2	4	2	3	5	7	5	5	5	1		4	43	
	ハト	ハト	アオバト	1		1					2	3				7	
	ミズナギドリ	アホウドリ	コアホウドリ		1											1	
	ミズナギドリ	ミズナギドリ	ミズナギドリSP		1											1	
	ミズナギドリ	ミズナギドリ	シロハラミズナギドリ								1					1	
	ミズナギドリ	ミズナギドリ	オオミズナギドリ			1				1						2	
	ミズナギドリ	ミズナギドリ	ハシボソミズナギドリ			1	1									2	
	ミズナギドリ	ミズナギドリ	アナドリ							1	1					2	
	カツオドリ	カツオドリ	アカアシカツオドリ							1						1	
	カツオドリ	ウ	カワウ	1												1	
	ペリカン	サギ	ヨシゴイ								1					1	
	ペリカン	サギ	ゴイサギ								1					1	
	ペリカン	サギ	アオサギ	1				1								2	
	ペリカン	サギ	ダイサギ												1	1	
	ペリカン	サギ	チュウサギ								1					1	
	ペリカン	サギ	コサギ		1					1	2					4	
	ツル	クイナ	オオバン									1	2			3	
	カッコウ	カッコウ	カッコウ								1					1	
	アマツバメ	アマツバメ	ヒメアマツバメ			1										1	
	チドリ	シギ	ヤマシギ									1				1	
	チドリ	シギ	未分類		1											1	
	チドリ	カモメ	ウミネコ			1			1							2	
	チドリ	カモメ	オオセグロカモメ												1	1	
	チドリ	ウミスズメ	ウミスズメ					1								1	
	タカ	タカ	トビ			1			2		2					5	
	タカ	タカ	ツミ					1								1	
	タカ	タカ	オオタカ			2					2			1		5	
	タカ	タカ	ノスリ		1							1				1	3
	フクロウ	フクロウ	オオコノハズク											1	2	2	5
	フクロウ	フクロウ	フクロウ			1				1							2
	フクロウ	フクロウ	アオバズク			1		2									3
	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ										1				1
	キツツキ	キツツキ	コゲラ			1	1										2
	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	2		1	1	1		1	1		1		1	1	9
	ハヤブサ	ハヤブサ	ハヤブサ								2						2
	スズメ	モズ	モズ							1	1						2
	スズメ	カラス	オナガ					2			1						3
	スズメ	シジュウカラ	ヤマガラ				1			1							2
	スズメ	シジュウカラ	シジュウカラ			13	5	2		1							21
	スズメ	ツバメ	ツバメ	2	6	51	29	12		1							101
	スズメ	ツバメ	イワツバメ				1	2	2								5
	スズメ	ヒヨドリ	ヒヨドリ	1		4	7	12		2	1			3	1	4	35
	スズメ	メジロ	メジロ	1	1	2	2	2	1				1				9
	スズメ	ヨシキリ	オオヨシキリ								1						1
	スズメ	ムクドリ	ムクドリ		5	9	8									1	23
	スズメ	ヒタキ	トラツグミ									1		2	1		4
	スズメ	ヒタキ	シロハラ									1					1
	スズメ	ヒタキ	ツグミ													1	1
	スズメ	ヒタキ	イソヒヨドリ		1												1
	スズメ	ヒタキ	キビタキ		1						1						2
	スズメ	ヒタキ	オオルリ				1										1
	スズメ	スズメ	スズメ	3	17	29	17	6	2					1	1		76
	スズメ	セキレイ	ハクセキレイ		1	3	3	2			1				1		11
	スズメ	アトリ	カワラヒワ		1	2	2	2									7
	キジ	キジ	コジュケイ				1			1		1					3
	ハト	ハト	ドバト				1									2	3
鳥類	計	61種		14	62	127	91	45	22	29	20	12	10	7	18	457	
哺乳類	翼手	ヒナコウモリ	アブラコウモリ		1	1	5			1	2	5				15	
	翼手	ヒナコウモリ	ヒナコウモリ									1				1	
	霊長	オナガザル	ニホンザル	1			1	1			1					4	
	兔	ウサギ	ノウサギ									1				1	
	げっ歯	リス	ムササビ	1							1					2	
	げっ歯	ヤマネ	ヤマネ			1										1	
	食肉	イヌ	タヌキ	2	3	8	1	1	1	1	5	3	2	6		33	
	食肉	イタチ	アナグマ								1						1
	食肉	ジャコウネコ	ハクビシン		1				1	1		2		1			6
哺乳類	計	9種		4	5	10	7	3	2	4	10	10	3	6		64	
総計		70種		18	67	137	98	48	24	33	30	22	13	13	18	521	

2 平成25年度の特徴

(鳥類)

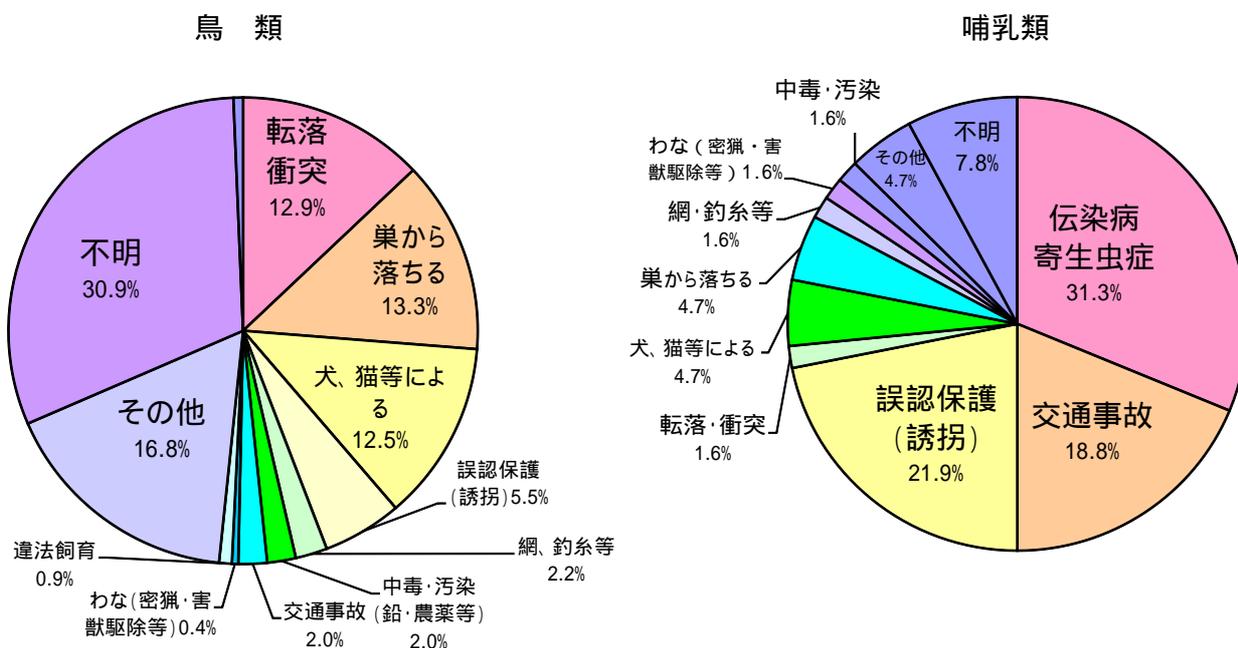
- ツバメ、スズメ、キジバト、ヒヨドリ、ムクドリ等が上位を占めており、例年とほぼ同様の顔ぶれです。
- 珍しい例としては、平成25年5月にコアホウドリ、7月にウミスズメ、9月にアカアシカツオドリなど県内ではあまり見られない海洋生活する海鳥が救護されました。また、県レッドリストで絶滅危惧類に分類されているハヤブサ、オオコノハズクも保護されています。



(哺乳類)

- タヌキが33頭と最も多く、その保護原因の66.7% (22/33頭) は疥癬症 (ヒゼンダニが原因でおこる皮膚病) によるものでした。昨年度は、タヌキの疥癬症による保護が減少し、疥癬症の罹患にやや歯止めがかかった感がありましたが、今年度はやや増加しました。

参考 (平成25年度の保護原因)



3 ボランティアの活動

- 当センターには、野生動物の飼養や治療・リハビリの補助、環境教育や普及啓発活動等を行っている多くの野生動物救護ボランティアの方々があります。
- 野生動物救護ボランティアには、一般ボランティア (注1)、短期飼養ボランティア (注2) 及び長期飼養ボランティア (注3) の3種類あります。平成25年度の一般ボランティアの活動人数は年間延べ1,083人で、平成19年度以降、毎年1,000人を超える方々にご参加いただいています。また、短期・長期飼養ボランティアに飼養を依頼した野生動物の数は14件になります。

注1 一般ボランティア

当センターに保護されている鳥獣の世話や救護された動物のデータ解析、学校等へ出向いての環境教育、普及啓発活動などを行っていただいております。

注2 短期飼養ボランティア

毎年5月から8月くらいまでの間、ツバメ、スズメ、ムクドリ、ヒヨドリ、キジバトなど、主に巣立ち前の野鳥のヒナ等の世話を30日程度行っていただいております。

注3 長期飼養ボランティア

翼が折れているなどの理由により野生に返せない鳥獣を、生涯にわたり飼養を行っていただいております。

参考（過去5カ年のボランティア活動状況）

（1）ボランティア登録状況

年度別	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
ボランティア登録数	245	193	210	248	191

*：ボランティア登録数は、各年度の3月31日現在

（2）一般ボランティアの月別活動状況

（延べ人数）

	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
4月	74	126	101	85	144
5月	76	138	161	181	192
6月	114	206	178	140	215
7月	148	166	190	130	141
8月	160	162	179	129	149
9月	70	100	166	111	111
10月	65	91	109	92	126
11月	78	81	118	93	104
12月	97	76	126	106	96
1月	82	80	117	77	112
2月	53	73	125	76	99
3月	66	65	140	90	129
計	1,083	1,364	1,710	1,310	1,618

（3）ボランティアへの飼養依頼

年度別		平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
鳥類	短期	7	12	29	22	46
	長期	3	7	15	19	31
哺乳類	短期	3	1	11	14	12
	長期	1	1	1	2	2
合計	短期	10	13	40	36	58
	長期	4	8	16	21	33
総計		14	21	56	57	91

* 各年度依頼分のみ掲載